



ウメモト インフラオメーション



2020年7月28日

担当者：小松

石油・天然ガス自主開発比率

前年比5.3%プラス

経済産業省は二二、取量および国内生産量も一部あるが、主として、わが国の石油・天然ガスは日量一七四・六万バレル（天然ガスは原油換算で算出）である。自主開発比率が前年度比五・三%プラスの三四・七%となったことを公表した。自主開発石油・天然ガス引輸入量が減少した影響が増えたことによるものとしている。

石油・天然ガスの自主開発比率は、石油・天然ガスの輸入量および国内生産量に占める、わが国企業の権益に関する引取量および国内生産量の割合と定義される。

石油・天然ガスの大半を輸入に頼るわが国にとって、安定的な資源・エネルギー供給の確保は必要不可欠。そのため、第五次エネルギー基本計画（一八年七月閣議決定）で、国産を含む石油・天然ガスの自主開発比率を、三〇年に四〇%以上に引き上げることが目指すこととしている。

引用記事

日本経済新聞

燃料油脂新聞

油業報知折衝

化学工業日報

天然ゴム市況 回復緩慢

過剰在庫・感染拡大が重し

天然ゴム市況は緩やかに回復している。タイヤ向けの代表的な品種であるTSR20、RSS3号のシンガポール相場（期近物）はそれぞれ1.1ポンド弱、1.2ポンド弱、4月初めの底値から15%ほど上昇した。中国タイヤメーカーの稼働率が高まり、新規需要につながっている。ただ、フタジエンやタイヤ用合成ゴムの市況安が足かせとなっているほか、新型コロナウイルス感染症の影響を拭い切れず上げ足を抑えている。

4月初めにTSR20が1.0ポンド強、RSS3号が1.3ポンド強で底を打ち、6、7月は期近物の上昇が目立つ。新型コロナウイルスの感染拡大にともなう世界各地の都市封鎖がタイヤ工場の稼働に影響し、需要を直撃した。都市封鎖の解除後、タイヤ工場の稼働が復旧するにしたが、天然ゴム市況も上昇している。

中国の新車生産は4月以降、前年同月実績を越える。中国自動車工業協会によると6月の生産は前年同月比22.5%増の232万5000台。市場関係者によると、現地大手タイヤ工場は稼働率は70%ほど。コロナ禍で2月に20%強まで落ち込んだが、6月には60%台半ばまで戻っているという。

ただ、天然ゴム市況回復は遅れている。「中国のタイヤ工場がコロナ禍前の水準にほぼ戻っていることを考えると、RSS3号なら1.7ポンドを超えていてもおかしくない」（専門商社）。合成ゴム原料のフタジエン、タイヤを主用途とするスチレン

・フタジエンゴム（SBR）の市況が重しだ。フタジエンは足元1.1ポンドあたり400ポンド前半。SBRはやや改善したものの925ポンド、過剰な流通在庫が回復を妨げている。

自動車生産の拡大は下支え要因になるが、在庫過剰と先行きの不透明感がゴム市況の回復に影響を与えそうだ。

新型コロナウイルス感染症の第2波に対する懸念も残る。冬の感染拡大の方が深刻になるとの見方が根強い。一方で、シンガポール相場で、先物（6カ月先）価格の上昇幅は期近物の半分、3分の1程度にとどまる。

全国有力新聞最新部数表

令和2年3月度 ABC部数

新聞社名	販売部数	新聞社名	販売部数	新聞社名	販売部数	新聞社名	販売部数
全読売(合計)	7,727,610	全日経(合計)	2,099,813	上毛新聞	288,028	大阪日日新聞	5,517
〃(東京)	4,649,193	〃(東京)	1,231,627	東京新聞	424,165	神戸新聞	466,873
〃(大阪)	2,053,869	〃(大阪)	543,035	朝日小学生新聞	72,609	日海新聞	157,059
〃(西部)	610,965	〃(西部)	136,339	朝日中高生新聞	44,032	山陰中央新報	180,041
〃(北海道)	179,653	〃(名古屋)	151,859	読売KODOMO新聞	191,436	山陽新聞	333,453
〃(北陸)	83,159	〃(北海道)	36,953	読売中高生新聞	84,276	中国新聞	578,260
〃(中部)	150,771	全産経(合計)	1,341,753	ニッポン農業	74,489	中国新聞SELECT	25,132
全朝日(合計)	5,191,420	〃(東京)	558,333	日本農林	319,435	徳島新聞	196,204
〃(東京)	2,943,478	〃(大阪)	783,420	神奈川新聞	159,171	四国新聞	174,239
〃(大阪)	1,422,931	北海道新聞	923,282	新潟日報	402,588	愛媛新聞	205,956
〃(西部)	439,442	東一リ一東	98,423	北日本新聞	218,357	高知新聞	160,575
〃(名古屋)	283,258	東奥日報	206,089	北陸中日新聞	87,009	西日本新聞	519,516
〃(北海道)	102,311	東岩手日報	188,869	北国新聞	333,453	佐賀新聞	122,137
全毎日(合計)	2,296,658	河北新報	411,762	福井新聞	30,664	長崎新聞	169,357
〃(東京)	913,144	秋田魁新報	207,944	山梨日日新聞	187,252	熊本日日新聞	260,732
〃(大阪)	905,182	信濃毎日新聞	191,862	信濃毎日新聞	438,298	大宮合同新聞	188,670
〃(西部)	377,209	福島民友	241,524	岐阜卓新新聞	154,238	南日本新聞	191,442
〃(中部)	77,014	福城新聞	169,372	中京新聞	602,355	The Japan News	263,416
〃(北海道)	24,109	茨野新聞	121,819	京都新聞	2,182,158	道新スポーツ	12,876
			285,364		413,747		35,343

新聞展望

株式会社 新聞展望社
編集発行人 船津敏秋
〒160-0005
新宿区聖住町18-7
電話 03(3355)8240
FAX 03(3355)2850
E-mail pen@shinbuntenbo.co.jp
振替口座 00130-1-92424
購読料 1ヵ月2750円(税込)

迎刊 **つりニュース**
漁、川、湖のつり総合紙
tsurinews.co.jp/

販売部数と前年・前月部数の比較

社名	R2-3	H31-3	前年比	前月比
全読売	7,727,610	8,114,816	△ 387,206	△ 34,693
東京	4,649,193	4,919,680	△ 270,487	△ 31,743
大阪	2,053,869	2,117,951	△ 64,082	△ 155
西部	610,965	650,776	△ 39,811	△ 187
北海道	179,653	187,485	△ 7,832	△ 1,642
北陸	83,159	86,404	△ 3,245	△ 678
中部	150,771	152,520	△ 1,749	△ 972
全朝日	5,191,420	5,603,778	△ 412,358	△ 22,868
東京	2,943,478	3,141,622	△ 198,144	△ 13,784
大阪	1,422,931	1,576,814	△ 153,883	△ 5,419
西部	439,442	479,147	△ 39,705	△ 2,343
名古屋	283,258	287,587	△ 4,329	△ 369
北海道	102,311	108,598	△ 6,287	△ 47
全毎日	2,296,658	2,452,028	△ 155,370	△ 3,590
東京	913,144	978,915	△ 65,771	△ 971
大阪	905,182	940,113	△ 34,931	△ 336
西部	377,209	411,405	△ 34,196	△ 1,728
中部	77,014	90,784	△ 13,770	△ 575
北海道	24,109	30,811	△ 6,702	△ 20
全日経	2,099,813	2,347,442	△ 247,629	△ 110,491
東京	1,231,627	1,398,454	△ 166,827	△ 93,875
大阪	543,035	593,088	△ 50,053	△ 9,523
西部	136,339	152,756	△ 16,417	△ 7,436
名古屋	151,859	164,999	△ 13,140	△ 261
北海道	36,953	38,145	△ 1,192	△ 82
全産経	1,341,753	1,392,080	△ 50,327	△ 735
東京	558,333	583,768	△ 25,435	△ 675

夕刊部数と前年・前月部数の比較

社名	R2-3	H31-3	前年比	前月比
全読売	1,980,358	2,180,621	△ 200,263	△ 12,600
東京	1,176,706	1,305,153	△ 128,447	△ 12,888
大阪	731,442	794,387	△ 62,945	△ 581
西部	35,216	42,561	△ 7,345	△ 10
北海道	34,327	35,675	△ 1,348	△ 298
北陸	2,667	2,845	△ 178	△ 5
全朝日	1,569,824	1,739,635	△ 169,811	△ 12,460
東京	907,752	1,001,676	△ 93,924	△ 9,404
大阪	552,559	607,291	△ 54,732	△ 2,168
西部	33,486	40,201	△ 6,715	△ 758
名古屋	50,015	52,786	△ 2,771	△ 193
北海道	22,011	24,195	△ 2,184	△ 63
全毎日	655,288	692,867	△ 37,579	△ 1,455
東京	213,999	234,117	△ 20,118	△ 1,248
大阪	381,959	394,502	△ 12,543	△ 36
西部	38,970	41,040	△ 2,070	△ 7
中部	20,360	23,208	△ 2,848	△ 5
北海道	-	-	-	-
全日経	1,072,199	1,139,787	△ 67,588	△ 9,186
東京	657,884	695,382	△ 37,498	△ 8,562
大阪	299,123	317,992	△ 18,869	△ 633
西部	30,073	35,324	△ 5,251	△ 1,251
名古屋	85,119	91,089	△ 5,970	△ 6
全産経	348,033	363,285	△ 15,252	△ 138

即売部数と前年・前月部数の比較

社名	R2-3	H31-3	前年比	前月比
全読売	160,688	160,653	△ 35	△ 4,061
東京	134,900	137,014	△ 2,114	△ 3,025
大阪	1,086	1,608	△ 522	△ 251
西部	4,805	5,057	△ 252	△ 951
北海道	5,085	4,696	△ 389	△ 86
北陸	29	30	△ 1	△ 9
中部	14,783	12,248	△ 2,535	△ 243
全朝日	11,917	14,797	△ 2,880	△ 3,528
東京	8,762	11,068	△ 2,306	△ 1,775
大阪	1,417	1,770	△ 353	△ 942
西部	425	454	△ 29	△ 167
名古屋	88	78	△ 10	△ 7
北海道	1,225	1,427	△ 202	△ 651
全毎日	23,613	23,696	△ 83	△ 1,705
東京	22,571	22,543	△ 28	△ 1,612
大阪	532	757	△ 225	△ 130
西部	45	43	△ 2	△ 6
中部	465	353	△ 112	△ 43
北海道	58,075	68,859	△ 10,783	△ 1,090
東京	44,239	50,978	△ 6,739	△ 1,070
大阪	11,223	14,692	△ 3,469	△ 31
西部	484	485	△ 1	△ 2
名古屋	2,036	2,566	△ 530	△ 6
北海道	94	138	△ 44	△ 55
全産経	50,344	53,085	△ 2,742	△ 192
東京	46,531	48,627	△ 2,096	△ 412



次期会長に深瀬氏(東京)
日販協 9月の総会

日本新聞販売協会の2式に就任する。0-9年度第4回理事会は7月14日、東京・千代田区の如水会館で開かれ、今期で任期満了を迎える本協常任会長の後任に、深瀬和雄氏(東京)が内定した。9月15日に予定する第99回連合大会で正式に承認される。深瀬氏は、理事の連任を希望する意向を示している。理事の連任を希望する意向を示している。理事の連任を希望する意向を示している。

次期会長に内定した深瀬和雄氏。深瀬氏は、理事の連任を希望する意向を示している。理事の連任を希望する意向を示している。理事の連任を希望する意向を示している。

2020 年 7 月 28 日

担当者: 榎野

抗菌コーティング剤を拡充

サカタインクス抗ウイルス品も開発へ

サカタインクスは抗菌性・抗ウイルス性の機能性コーティング剤開発を加速する。抗菌性製品についてはすでに上市している紙向け製品に加え、さらにラインアップ拡充を進める。抗ウイルス性製品については秋ごろまでの開発を予定する。第1弾として紙向けを予定しており、今年中にさらに拡充する方針。このほか、フードロス問題や紙容器向けへのガスバリア剤やコーティング剤の開発も急ぐ。

同社の抗菌性コーティング剤「Raboot W-101」(同301)は、ともに紙袋、一般包装、段ボールなど紙向けで、抗菌効果と安全性を証明する抗菌製品技術協議会(SIAA)の表示基準に適合、高い抗菌性を誇

る。101は環境に配慮した水性タイプで、301は米国食品医薬品局(FDA)認可の原材料のみを使用するなどの特徴も持つ。

従来の紙向け製品に加え、さらに年内にフィルムパッケージや情報メディア向けのほか、水性溶剤性、紫外線(UV)などへの展開、拡充を視野に、製品の開発に取り組む。

抗ウイルス性コーティング剤については今年から開発を開始。現在のこところ8~9月ごろ抗ウイルス性コーティング剤のリリースを見込む。第1弾として紙向け製品を予定しており、続いて年内にラインアップを拡充する方針。

同社は近年インキに続く新製品のひとつとして、

機能性コーティング剤の開発に力を入れてきた。新型コロナウイルスの世界的なまん延を受け、同社の技術を生かし製品開発を進める。

このほか、一部の食品などのパッケージがフィルムから紙へ移行しようとする動きがあるなか、その技術的課題をコーティング剤で解決すること

を目指す。例えば、複数のフィルムをラミネートで対応しているものなどをコーティング剤で代替するなどして、石油由来の材料を減らすことにもつなげたい考え。また、フードロス問題が注目されるなか、消費期限や賞味期限を延ばすためのガスバリア剤で、従来のフィルム向けから紙向けへの対応を進める。

配慮している。また、同社独自技術の顔料のナノ分散技術により、IJへの高信頼性と高速印刷を実現した。カラーにはCMYK(シアン・マゼンタ・イエロー・キープレート)の4色のほか、オレンジ、グリーン、バイオレットをラインアップすることで広い色域をカバーし、高彩色印刷が可能。

段ボール用UV硬化IJインキ

バイオマス原料を配合

サカタインクスは27日、環境配慮型UV(紫外線)硬化型インク「SR-Bio Ink」を開発したと発表した。段ボール印刷向けのIJインキで、植物由来のバイオマス原料を配合し、同社が日本国内で展開

している独自のバイオマスインキブランド「ポタニカルインキ」認証にも登録した。IJ方式が広がる段ボール印刷でのニーズにこたえる。

同製品は「SRインク」の特徴の低臭気、高耐性、高柔軟性など段ボール印刷に求められる必要性を満たすことも、バイオマス原料を20~30%配合し環境にも

近年の段ボール印刷では、小ロット、多品種、短納期などのニーズに合う印刷方式として、必要な時に必要なだけ製造するオンデマンドのIJ方式が普及している。また、運搬用だけでなく陳列棚を兼ねたスタンディングPOPなどにも広がり、より付加価値の高い製品が生み出されている。



BOTANICAL INK™

「ポタニカルインキ」のロゴマーク

外線)硬化型インク「SR-Bio Ink」を開発したと発表した。段ボール印刷向けのIJインキで、植物由来のバイオマス原料を配合し、同社が日本国内で展開

している独自のバイオマスインキブランド「ポタニカルインキ」認証にも登録した。IJ方式が広がる段ボール印刷でのニーズにこたえる。

近年の段ボール印刷では、小ロット、多品種、短納期などのニーズに合う印刷方式として、必要な時に必要なだけ製造するオンデマンドのIJ方式が普及している。また、運搬用だけでなく陳列棚を兼ねたスタンディングPOPなどにも広がり、より付加価値の高い製品が生み出されている。